H24 年度評議員会　第２号議案

平成 23 年度事業報告書

（平成 23 年 4 月 1 日～24 年 3 月 31 日）

D. A. Y.

財団法人 ユースワーカー能力開発協会

目　　次

Ⅰ．ユースリーダー人材育成事業

【１】ユースリーダー養成活動

① 企業等の中堅幹部を対象とした異業種交流研修活動
＜異業種交流研修会の開催＞
② 広く若い世代を対象としたユースリーダー研修活動
＜新江ノ島水族館・夏休み親子体験学習プログラム＞

【２】環境活動を通したユースリーダーの育成支援活動

① 中国植林プロジェクトの実施運営
＜中国における３プロジェクトの推進＞

【３】国際活動を通したユースリーダーの育成支援活動

① 「アジアの会」の実施運営（大阪）
＜アジアで活躍するリーダーを招聘しての定例勉強会の開催＞

Ⅱ．海外ユースリーダー育成支援事業

【１】海外ユースリーダーの来日研修

① ＪＩＣＡ「青年研修事業」の受託運営
＜アフガニスタン「行政管理コース」研修の実施＞

【２】海外ユースリーダーとのネットワーク推進

① ＡＪＡＦＡとの連携交流活動
＜第 17 回ユースフォーラム（インドネシア）参加＞
＜ＥＣＭ（ベトナム）参加＞
＜ＴＶ会議実施＞

【３】開発途上国ユースリーダーの育成支援活動

③ スカラシップ（奨学金）活動
＜ベトナムＩＴスカラシップ実施＞

Ⅲ．若者支援活動の社会啓発事業

【１】ユースリーダー顕彰活動

① 「若者力大賞」表彰
＜第３回「若者力大賞」選考・表彰の実施＞

【２】社会活動を実践しているユースリーダーへの支援活動

① 東日本大震災支援ボランティアリーダーへの支援活動
＜宮城県南三陸町災害ボランティアセンターを通した支援＞

【３】広報活動・啓発活動の推進

① 会員および会員拡大イベント
＜サポーターの集い２０１１の実施＞
② 各種広報活動の実施
＜ホームページの企画運営＞
＜会報誌の発行＞

【４】調査研究活動

① 「政策提言委員会」運営
＜グローバル社会に対応した人材育成に関する提言の検討＞

Ⅳ．協会運営活動

【１】理事会・評議員会・運営幹事会の開催

【２】公益財団法人移行への対応

【３】事務所移転・団体名称変更等への対応

Ⅰ．ユースリーダー人材育成事業　（事業費 47,668 千円）

【１】ユースリーダー養成活動

①企業等の中堅幹部を対象とした異業種交流研修活動

＜「異業種交流研修会」の開催＞

次代を担うリーダーの育成およびネットワークづくりを目的として、大手企業の中堅幹部や若手経営者など、若手リーダー層を中心とする異業種交流研修会を平成 20 年より実施している。平成 23 年度においては、日本経済における第一線の指導者に学ぶ事をテーマとして計 3 回にわたり研修を実施した。

（１）第 10 回異業種交流研修会

○日時　：平成 23 年 6 月 13 日（月）
○場所　：倶楽部パソナ（東京都渋谷区）
○講師　：出口　治明　氏
　　ライフネット生命保険（株）
　　社長
○テーマ：「日本の競争力」
○参加者：25 名

（２）第 11 回異業種交流研修会

○日程　：平成 23 年 10 月 17 日（月）
○場所　：倶楽部パソナ（東京都渋谷区）
○講師　：福井　俊彦　氏
　　キヤノングローバル戦略研究所
　　理事長（前日銀総裁）
○テーマ：「これからの日本」
○参加者：35 名

（３）第 12 回異業種交流研修会

○日程　：平成 24 年 2 月 13 日（月）
○場所　：パソナグループ本部
　　（東京都千代田区）
○講師　：橋本　五郎　氏
　　読売新聞特別編集委員
○テーマ：「どうなる日本？」
○参加者：25 名

②広く若い世代を対象としたユースリーダー研修活動

＜「新江ノ島水族館」夏休み親子体験学習プログラム＞

当協会ではグループワークを通じて、青少年の育成を指導する人＝ユースワーカーの育成に長く取り組んできた。平成 23 年度においても、恒例となった新江ノ島水族館での親子体験学習プログラム「自然の生き物との触れ合い・わくわくドキドキ生き物たちの舞台うら」をテーマに、グループワーク等を実施した。

○日程　：平成 23 年 9 月 19 日（月・祝）
○会場　：新江ノ島水族館
○参加者：50 名（こども 23 名、大人 27 名）
○プログラム：①感じる水族館②キャンドル作り③バックヤードツアー
④水族館見学

【２】環境活動を通したユースリーダーの育成支援活動

①中国植林プロジェクトの実施運営

＜中国における3プロジェクトの推進＞

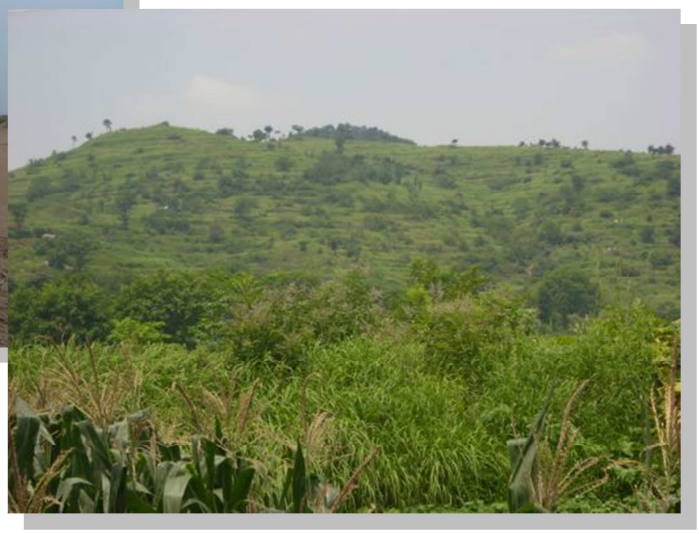
日中緑化交流基金による助成のもと、現地パートナーである中華全国青年連合会との共同で、中国安徽省、陝西省、内モンゴル自治区における植林緑化運動を実施した。（５年計画）

（１）日中青年安徽省懐寧造林プロジェクト

○実施地：中国安徽省懐寧県
○植林面積：120 ヘクタール
○植林本数：16 万本

（２）日中青年宝鶏生態緑化モデル林プロジェクト
○実施地：中国峡西省宝鶏市
○植林面積：70 ヘクタール
○植林本数：13 万本

（３）日中青年内モンゴル砂漠化防止モデル林プロジェクト
○実施地：中国内モンゴル自治区
○植林面積：100 ヘクタール
○植林本数：28.4 万本



【３】国際活動を通したユースリーダーの育成支援

①アジアの会の実施運営

＜アジアで活躍するリーダーを招聘しての定例勉強会の開催＞

大阪事務所を中心に、国境を越えた若者の育成を目的として中国語教室や、さらにはアジアで活躍するリーダーを招いての勉強会「アジアの会」を実施した。今年度は東日本大震災の影響で、年間１回だけの開催となった。

（１）第 33 回アジアの会
○日時　:平成23年6月23日(木)
○場所　：ハービスプラザ
（大阪市）
○講師　：光森　史孝　氏
（ボランティア活動家・
バリ島在住）

Ⅱ．海外ユースリーダー育成支援事業　（事業費 5,334 千円）

【１】海外ユースリーダーの来日研修

①ＪＩＣＡ青年研修事業の受託運営

＜アフガニスタン「行政管理コース」研修の実施＞

ＪＩＣＡ（国際協力機構）が毎年行っている「青年研修事業」を今年度も受託、アフガニスタンからの来日研修プログラムの企画・実施を担当した。
今年度は、３月の大震災の影響もあって海外各国からの研修参加が減少し、１コースのみの受託となった。

（１）アフガニスタン（行政管理コース）
○日程　：平成 23 年 12 月 5 日（月）～12 月 19 日（月）
○参加　：20 名
○内容　：日本における行政管理の仕組みについて学び、
地方自治の現状などの体験視察を行った。

【２】海外ユースリーダーとのネットワーク推進

① ＡＪＡＦＡとの連携交流活動

ＪＩＣＡによる海外青年招へい事業によって来日し、研修を受けた ASEAN 各国の研修生同士が、それぞれの国で同窓会を組織している。
その横断的な連携組織：「ＡＪＡＦＡ－２１」（Asean-Japan Frendship Association for the 21th Century）との交流活動を、当財団が日本側窓口となって毎年行っている。その歴史は 20 年を超す。
主な活動は下記のとおりで、今年度も積極的に参加して交流を深め、また新たな事業計画への取り組みを日本から呼びかけた。

（１）第 17 回ＲＬＦ（ｱｾｱﾝ･ﾕｰｽﾌｫｰﾗﾑ）参加

○日時：平成 23 年 11 月 15 日～19 日
○場所：インドネシア・ジャカルタ特別州
○テーマ：ASEAN 諸国のﾌﾚﾝﾄﾞｼｯﾌﾟ強化のための文化の保護・促進と相互理解
○参加：ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾀｲ・ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ・ﾍﾞﾄﾅﾑ・ﾗｵｽ・ﾐｬﾝﾏｰ・ﾏﾚｰｼｱ・ﾌｨﾘﾋﾟﾝ・日本（9 か国）
○参加者：74 名
（DAY からは２名参加）

（２）第 24 回ＥＣＭ（AJAFA-21 の各国代表者会議）参加

○日程：平成 24 年 2 月 17 日～20 日
○場所：ベトナム・ハノイ
○参加：9 か国 25 名
○提案：日本側から、日本の若者の受入れを打診。
また、共同事業の企画および 2015 年に、
青年招へい事業 30 周年を記念して、日本
でのﾕｰｽﾌｫｰﾗﾑの開催を提案した。

（３）テレビ会議の開催（JICA の TV 会議ｼｽﾃﾑを使った国際会議）

（第 7 回）
○日程：平成 23 年 4 月 8 日（金）
○場所：JICA 本部（東京都千代田区）
（第 8 回）
○日程：平成 23 年 7 月 8 日（金）
○場所：JICA 本部（東京都千代田区）
（第 9 回）
○日程：平成 23 年 10 月 7 日（金）
○場所：JICA 本部（東京都千代田区）
（第 10 回）
○日程：平成 24 年 1 月 13 日（金）
○場所：JICA 本部（東京都千代田区）

【３】開発途上国ユースリーダーの育成支援活動

① スカラシップ（奨学金）活動

＜ベトナム IT スカラシップ実施＞

本制度は、途上国の有望な大学生及び研究者に奨学金と日本語学習の機会を与え、人材の育成を図る目的で毎年行っている。平成 23 年度においては、ベトナム・ハノイ工科大学において 5 名の奨学生を選抜した。
なお、本制度はすべて法人・個人からの寄附によって運営されるものであり、その寄付金は経団連関係の社団法人海外事業活動関連協議会より税制上の優遇処置が承認されている。

○対象大学：ベトナムハノイ工科大学
○対象学生：情報技術分野など理系学生
○支給人数：5 名

Ⅲ．　若者支援活動の社会啓発事業　　（事業費 4,009 千円）

【１】ユースリーダー顕彰活動

①「若者力大賞」表彰制度

＜第３回「若者力大賞」選考・表彰の実施＞

財団設立４０周年を記念して創設された「若者力大賞表彰制度」。
同世代に夢と希望を与えている 20 代・30 代の若きリーダー、及びその指導者の表彰を通して、社会全体で若者を守り育てることの大切さを広く伝えることを目的に、毎年実施している。

（１）第３回「若者力大賞」表彰式
○日時：平成 24 年 1 月 24 日（火）
○場所：パソナグループ本部
（東京都千代田区）
○参加：95 名（会員関係者・受賞者）

（２）第３回「若者力大賞」受賞者（敬称略）
① 若者力大賞 …… 村田　修一（プロ野球選手）
② ユースワーカー支援賞【個人】…… 日向ひまわり（女流講談師）
③ ユースワーカー支援賞【団体】…… かものはしプロジェクト
…… 若年層の就業力強化チーム

（３）審査委員会
○委員長　三村明夫　氏（新日本製鐵会長）
○委員　西尾進路　氏（JX ホールティングス会長）
○委員　橋本久美子氏（橋本龍太郎元首相令夫人）
○委員　山中祥弘　氏（学校法人メイ・ウシヤマ学園理事長）
○委員　蛭田史郎　氏（旭化成最高顧問）

【２】社会活動を実践しているユースリーダーへの支援活動

① 東日本大震災支援ボランティアリーダーへの支援活動

＜宮城県南三陸町災害ボランティアセンターを通した支援＞

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、各地に壊滅的な大被害をもたらした。当財団では復興のための支援を種々検討した結果、青年研修事業で縁の深い宮城県南三陸町で、震災直後から現地にかけつけて、身を粉にして復旧支援に取り組んでいる若きボランティアリーダーたちに支援をさせていただいた。

（１）震災ボランティア活動報告会

○日時：平成 24 年 1 月 24 日（火）
○場所：パソナグループ本部
（東京都千代田区）
○講師：薗田　大典　氏
（南三陸町災害ボランティア
センター・スタッフ）

（２）大震災支援要請説明会（協力参加）

○日時：平成 24 年 3 月 28 日（水）
○場所：品川健康センター（東京都品川区）

【３】広報活動・啓発活動

① 会員および会員拡大のイベント

＜サポーターの集い2011の実施＞

○日時：平成 23 年 10 月 29 日（土）
○場所：ダイニング・マイ・ラビット
（銀座）
○講師：長島　美紀氏
（一般財団法人 mudef 事務局長）
○講演会テーマ：MISIA の森から考える
～ 森の保全活動から見えること ～
○ミニライブ出演：橋本昌彦氏
（第 2 回若者力大賞受賞者）
○懇親会

＜新年賀詞交歓会の開催＞

○日時：平成 24 年 1 月 24 日（火）
○場所：パソナグループ本部
（東京都千代田区）
○参加：95 名（会員関係者・
大賞受賞者関係者）

②各種広報活動の実施

＜ホームページの企画運営＞

＜会報誌の発行＞
○発行：(No. 130) H23 年 4 月
○発行：(No. 131) H23 年 9 月
○発行：(No. 132) H24 年 3 月

＜記事掲載＞
★「若者力大賞」関連記事
○スポーツ報知
H24 年 1 月 15 日
○毎日新聞
H24 年 1 月 20 日
○毎日新聞
H24 年 1 月 25 日（右掲載）

若者力表彰

大賞に村田修一さん

新生児医療の支援活動

若者に夢と希望を与え、活躍をした人をたたえる第3回「若者力大賞」の表彰式が24日、千代田区内で開かれた。若者力大賞は超早産児で生まれた長男の闘病経験から新生児医療の支援活動にも取り組むプロ野球選手、村田修一さん(31)が受賞した。村田さんは自主トレーニングのため欠席し、長男の主治医で神奈川県立こども医療センター新生児科の豊島勝昭医長が代理で受け取った。

若者の人材育成を支援する財団法人「ユースワーカー能力開発協会」が主催。有識者を含む審査委員会が選んだ。

表彰式では、村田さんがビデオで「小さな命を救うために必死に頑張っている多くの人たちがいることを皆さんに知ってもらいたいと思って、新生児医療の支援活動をやっています」と話した。豊島さんは「生まれた赤ちゃんの12人に1人は低出生体重児だ。村田さんのお子さんやご家族は特別な人たちではない」と説明した。

また、若者の才能を支援する優れた指導者・団体に贈る「ユースワーカー支援賞」には、個人部門で子どもを大切にする気持ちを講談で伝える日向ひまわりさん(36)、団体部門で、生活雑貨を手作りする工房をカンボジアの農村に設立した「NPOかものはしプロジェクト」とNPOとの協働により若者就業支援に取り組んでいる経営コンサルティング会社「アクセンチュア」のコーポレートシチズンシップ推進室がそれぞれ選ばれた。【南恵太】

「若者力大賞」を代理で受け取った神奈川県立こども医療センター新生児科の豊島勝昭医長（左から2人目）ら

第3回 若者力大賞 表彰式

「働くこと」テーマ
1000人前に意見交換
タウンミーティング
「働くことを軸とする安心社会に向けて」（連合主催、毎日新聞

【４】調査研究活動

①「政策提言委員会」運営

＜グローバル社会に対応した
人材育成に関する提言の検討＞

○委員長：小池　聡氏（当財団理事）
○会議　：４回開催（7･8･9･10 月）
○答申（第 1 次）：平成 23 年 11 月
22 日（井上理事長へ）
★継続検討中

Ⅳ．協会運営活動　（管理費 22,770 千円）

【１】理事会・評議員会・運営幹事会の開催

＜平成 23 年度　役員会開催記録＞

(1) 第 1 回理事会
　日時：平成 23 年 5 月 10 日(木)
　場所：芝パークホテル
(2) 第 1 回評議員会
　日時：平成 23 年 5 月 10 日(木)
　場所：芝パークホテル
(3) 臨時理事会
　日時：平成 23 年 11 月 28 日(月)
　場所：航空会館
(4) 臨時評議員会
　日時：平成 23 年 11 月 28 日(月)
　場所：航空会館
(5) 第 2 回理事会
　日時：平成 24 年 3 月 23 日(金)
　場所：芝パークホテル
(6) 第 2 回評議員会
　日時：平成 24 年 3 月 23 日(金)
　場所：芝パークホテル

＜平成 23 年度　運営幹事会開催記録＞

(1) 第 1 回運営幹事会
　日時：平成 23 年 4 月 26 日(火)
　場所：日比谷ビル
(2) 第 2 回運営幹事会
　日時：平成 23 年 5 月 23 日(月)
　場所：日比谷ビル
(3) 第 3 回運営幹事会
　日時：平成 23 年 6 月 16 日(木)
　場所：パソナソーシング
(4) 第 4 回運営幹事会
　日時：平成 23 年 7 月 25 日(月)
　場所：日比谷ビル
(5) 第 5 回運営幹事会
　日時：平成 23 年 8 月 24 日(水)
　場所：日比谷ビル
(6) 第 6 回運営幹事会
　日時：平成 23 年 9 月 14 日(水)
　場所：日比谷ビル

(7) 第 7 回運営幹事会
日時：平成 23 年 10 月 27 日(木)
場所：日比谷ビル
(8) 第 8 回運営幹事会
日時：平成 23 年 11 月 22 日(火)
場所：日比谷ビル
(9) 第 9 回運営幹事会
日時：平成 23 年 12 月 15 日(木)
場所：日比谷ビル
(10) 第 10 回運営幹事会
日時：平成 24 年 1 月 26 日(木)
場所：日比谷ビル
(11) 第 11 回運営幹事会
日時：平成 24 年 2 月 27 日(月)
場所：赤坂ツインタワー
(12) 第 12 回運営幹事会
日時：平成 24 年 3 月 19 日(月)
場所：溜池ビル

【２】公益財団法人移行への対応

○最初の評議員選定委員会	・平成 23 年 9 月 9 日（金）
○新定款の承認・代表理事の選任	・平成 23 年 11 月 28 日（月）
○内閣府へ移行申請	・平成 23 年 11 月 30 日（水）
○移行認定	・平成 24 年 3 月 23 日（金）
○公益財団法人設立登記	・平成 24 年 4 月 1 日（日）

【３】事務所移転・団体名称変更等への対応

○事務所移転の理事会承認	・平成 23 年 5 月 10 日（木）
○新事務所賃貸契約締結	・平成 23 年 9 月 19 日（月）
○事務所移転	・平成 24 年 2 月 25 日（土）
○名称変更の理事会承認	・平成 23 年 11 月 28 日（木）
○名称変更登記	・平成 24 年 4 月 1 日（日）

☆新事務所にお気軽にお立ち寄りください。

power photo © Ryota Atarashi